



ALWAYS FOR HUMANS.

いのちを見つめ、
人間を支える。

洛和会ヘルスケアシステム

CSR REPORT

2024-2025

RKW 洛和会
ヘルスケアシステム®



やさしい社会を創造する。

医療、介護、保育、教育など、各分野のプロフェッショナルが集結する

洛和会ヘルスケアシステム。

それぞれの職種が持つ技術と誇り。地域に対する無限の感謝。

それらの総合力によって、いのちを見つめ、健康を支え、暮らしに寄り添いながら、

やさしい社会の創造に貢献します。



日々の活動そのものが、 社会的使命を持っている。

洛和会ヘルスケアシステムは、4つの病院をはじめ、介護施設、保育施設、看護学校など約200施設を運営する、総勢6,655名の組織です。私たちは、提供するサービスそのものが社会的使命を持っているという強い自負をもとに「やさしい社会を創造する」というパーソナルを掲げ、日々活動に従事しています。職員一人ひとりの一歩は小さくとも、6,655名全員がそれぞれの一歩を踏み出すことで、大きな動きになると私たちは信じています。

インクルーシブな社会を実現するために

クラウドファンディングでインクルーシブ遊具を設置



「やさしい社会を創造する。」という当会のバーバスを実現するため、障がいの有無や発達段階に関わらず、全ての子どもたちが安全に遊べる“インクルーシブ遊具”的設置を目指し、2024年9月からクラウドファンディングを実施。たくさんの方からご支援いただき、2025年5月京都市の民間医療機関として初めてインクルーシブ遊具の設置を実現しました。洛和会音羽病院の敷地内に設置された遊具「フレディ」は大きな長方形の座面が特徴のブランコで、座ることが難しい方や医療機器を付いている方も姿勢を問わず遊ぶことができます。この遊具をきっかけに、みんなが笑顔になれる地域交流の場となっています。

クラウドファンディング実績

支援者 162 人

支援総額 4,038,000 円



音楽で京都の街を包み込む 「Kyoto Music Caravan 2025」に協賛

Kyoto Music
Caravan 2025
Special support by 洛和会音羽病院

京都の名刹や公共施設を舞台に、多彩なジャンルの音楽が街に響く「京都ミュージックキャラバン2025」。当会は本イベントの趣旨に共感し、洛和会音羽病院が協賛しています。2026年3月には、「誰もが気兼ねなく参加できる場をつくりたい」という理事長の想いから、全ての人が楽しめるコンサートを開催予定です。コンサートには、障がいのある方とその介添人計200人をご招待します。オープニングアクトには当会の音楽療法士が出演。この協賛を通じて、京都に暮らす皆さんのが音楽で心豊かになれるよう後押しします。



パートナーシップ(抜粋)

特殊詐欺から 地域を守るプロジェクト

洛和会ヘルスケアシステムは、京都府中京警察署と連携し「特殊詐欺防止プロジェクト」を始動しました。京都府内での昨年の被害総額は11億円を超え、特に警察官を名乗る手口や国際電話を使った詐欺が増加しています。6月25日のスタート式では警察官が講演し、約60人のホームヘルパーやケアマネジャーが最新の詐欺手口や事例を学びました。その後、実際に利用者宅へ伺い国際電話の利用停止を促すチラシを活用し注意喚起を実施。地域の高齢者と日々接する職員が、被害を防ぐ重要な役割を担っています。今後も警察と協力し、地域の安心・安全を守る取り組みを継続してまいります。



山科区とともにつくる 「やさしいまち」

京都市が掲げる地域活性化プロジェクト「meetus 山科-醍醐」に賛同し、健康づくりや子育て支援、当会職員の山科区定住・移住促進など行政と連携してさまざまな取り組みを実施しています。2025年4月には、子どもたちの安全・安心の一助となることを願い、山科区にある小学校13校の新入生約740人に防犯ブザーを寄贈しました。今後も洛和会京都看護学校の図書館の無料開放や、「やましなお誕生おめでとう事業」に協力するなど、山科区が目指す「多様な人々が住み、学び、つながることができる文化・教育のまち山科」の実現に向けて連携を強化してまいります。



京都市山科区と包括連携協定を締結

2024年3月、山科区と自然災害に備える包括連携協定を締結。洛和会音羽病院での災害時における避難者の受け入れなど防災面での連携を図るほか、さまざまな施設や人材を活用していきます。民間でありながらこの地域を支える「災害拠点病院」として、災害時も平時も緊密に連携を図っていきます。

洛和会京都看護学校と明治国際医療大学が 包括連携協定を締結

東洋医学やスポーツ医学の教育に強みを持つ明治国際医療大学と、教育内容の一層の充実や進学機会の創出、教職員の人事交流や共同研究など多方面にわたる連携を目的とした協定を締結。患者さんの日頃のケアに東洋医学の視点を取り入れるなど、地域包括ケアを担う次世代ナースの育成を目指します。

地域ふれあい広場で香東園とコラボ

年2回、春と秋に六兵卫池公園(京都市山科区)で開催されているイベント「地域ふれあい広場」にて、香東園やましなと当会の職員が協働でブースを出展。今年は健康増進体験や福祉機器体験を実施し、地域の方々の健康づくりをサポートする取り組みを行いました。

スポーツ支援

「京都ハンナリーズ」とともに地域を盛り上げる

洛和会丸太町病院は、B.LEAGUE所属のプロバスケットボールチーム「京都ハンナリーズ」を、2025-26シーズンからゴールドパートナーとして応援しています。当会では、洛和会丸太町病院や丸太町リハビリテーションクリニックを中心にスポーツ整形分野に注力しており、日頃から京都のアスリートを医療面で支えてきました。こうした支援に加え、今回はスポーツ活動そのものへの協力をさらに進めたく本格的にチームへの協賛に踏み切りました。京都を拠点に熱いプレーを繰り広げるハンナリーズと力を合わせ、スポーツの持つ力で地域に元気を届けるとともに、インクルーシブ・ブランド「IKOU」の障がいの有無に関係なく使用できるキッズチェアを試合会場などで無料貸し出しする取り組みも進行中です。誰もが快適に観戦できる環境づくりにも積極的に関わっています。



若手アスリートの挑戦を後押し

マウンテンバイク・ダウンヒル競技で活躍する羽口鉄馬選手を、当会は2023年から支援しています。資金面だけでなく、競技で負傷した際の治療やリハビリなど必要な体のケアを当会の病院やクリニックでいつでも受けられるよう医療法人ならではの支援をしています。2024年からは洛和会広報部に所属し職員として働きながら競技生活を継続。2025年の全日本選手権では見事優勝を果たし、日頃の努力の成果を示しました。



アジアチャンピオンズリーグ 男子ジャパン2025に協賛

地元京都で開催されたバレーボール国際大会「アジアチャンピオンズリーグ男子ジャパン2025」に協賛。運営支援を通じて地域に貢献しました。

車いす女子バスケットボールチーム 「カクテル」を支援

2014年から当会がスポンサーを務めている車いす女子バスケットボールチーム「カクテル」。ユニフォームの提供をはじめ、チームの公式ウェブサイトの制作や当会SNSでの試合情報の発信など広報的な面からも支援をしています。2024年12月に開催された「皇后杯第33回日本女子車いすバスケットボール選手権大会」では、選手たちは鍛え上げた巧みな車いす操作とスピードで熱戦を制し、見事優勝。史上初となる9連覇を達成しました。



関西ラグビーを応援

洛和会丸太町病院は2025年から関西ラグビーフットボール協会(サポートカンパニー5)への協賛をスタートしました。

 洛和会丸太町病院は
関西ラグビーを応援しています

その他の社会貢献活動(抜粋)

祇園祭にらくわ子どもステーション



親子で安心して祇園祭を楽しめるよう、「洛和デイセンター四条鉾町」を休憩所として無料開放。保育士と看護師が常駐し、授乳やおむつ交換の場所提供、食育動画の配信などを行いました。

痴漢・盗撮防止ミラーを寄贈



痴漢や盗撮の被害が増える受験シーズンに、京都市営地下鉄「山科駅」「二条駅」「北大路駅」の駅構内のエスカレーターに防犯ミラーを設置しました。

救急の日に救命講習を開催



9月9日の救急の日に際し、地下鉄山科駅改札口前にて、洛和会音羽病院の救急救命士と看護師による「救命講習」を山科消防署と連携し開催。多くの方にご参加いただきました。

子ども食堂で吉野家の牛丼を無償提供



当会の児童館などで月2回、所属児童を対象に実施している子ども食堂。そのスペシャルイベントとして、吉野家の牛丼限定300食を地域の子どもたちとその保護者に無償で提供しました。

丸太町エリアで地域の清掃活動



洛和会丸太町病院がある丸太町通りと七本松通りを中心に、毎年年末に大掃除を実施。2024年は当会の職員をはじめ、朱雀第二学区自治連合会を含む一般参加者総勢40人以上が集まり清掃しました。



ANNUAL RESULTS

医療アクト対応実績

2024年4月～2025年3月31日の各種データを集計。患者数は延べ人数です。

年間手術件数



計 **12,793** 件

救急対応件数

計 **31,135** 件

救急車

年間
1万件
以上

総数 **10,272** 件

洛和会
丸太町病院 3,378件
洛和会
音羽病院 6,894件

ウォークイン

総数 **20,863** 件

洛和会
丸太町病院 6,478件
洛和会
音羽病院 14,385件

洛和会丸太町病院

内、全身麻酔手術
(**1,826** 件)

洛和会音羽病院

内、全身麻酔手術
(**2,917** 件)

洛和会音羽記念病院

内、全身麻酔手術
(**398** 件)

年間外来延べ患者数

総数 **455,610** 人

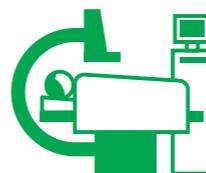
洛和会
音羽リハビリテーション
病院 35,744人
洛和会
音羽記念病院 73,433人
洛和会
丸太町病院 93,467人
洛和会
音羽病院 246,287人
洛和会
東寺南病院 6,679人
洛和会
丸太町病院 101人

新規入院患者数

総数 **21,372** 人

洛和会
音羽リハビリテーション
病院 1,269人
洛和会
音羽記念病院 2,155人
洛和会
丸太町病院 4,872人
洛和会
音羽病院 12,975人
洛和会
東寺南病院 101人

年間心臓カテーテル件数



検査

計 **759** 件

(洛和会丸太町病院 247 件)
(洛和会音羽病院 512 件)

治療

計 **775** 件

(洛和会丸太町病院 222 件)
(洛和会音羽病院 553 件)

平均在院日数

洛和会
丸太町病院
10日

洛和会
音羽病院
11日

洛和会
音羽記念病院
19日

洛和会
音羽リハビリテーション病院
50日

洛和会
東寺南病院
187日

※一般病棟のみ



検査

計 **10,249** 件

(洛和会丸太町病院 2,799 件)
(洛和会音羽病院 7,450 件)

治療

計 **876** 件

(洛和会丸太町病院 277 件)
(洛和会音羽病院 599 件)

ANNUAL RESULTS

介護アクト サービス別年間利用者数

2024年4月～2025年3月31日の各種データを集計。施設数は集計当時のもの。利用者数は延べ人数です。

在宅サービス


計 412,017 件 /

通所介護・居宅介護支援

[計 34 力所]

\192,593 件 /

訪問看護

[計 18 力所]

\91,140 件 /

訪問介護

[計 6 力所]

\128,284 件 /

地域密着型サービス


計 246,419 件 /

グループホーム

[計 31 力所]

\194,210 件 /

小規模多機能/看守機

[計 6 力所]

\52,209 件 /

施設サービス


計 418,553 件 /

介護老人保健施設

[計 3 力所]

\86,008 件 /

特養・地域密着型

[計 8 力所]

\180,664 件 /

高齢者住宅・サ高住

[計 7 力所]

\107,675 件 /

介護医療院

[計 1 力所]

\44,206 件 /

ANNUAL RESULTS

子ども未来アクト 対応実績

2024年4月～2025年3月31日の各種データを集計。



施設数

保育園 計 12 力所

児童館 計 4 力所

児童園 計 1 力所

学童クラブ 計 2 力所

病児保育について
病気中または、感染症の回復期のお子さんを一時的にお預かりする病児保育も行っています。隣接する洛和会音羽病院の小児科による回診もあるので安心です。

月平均利用者数

保育園 488 人

児童館 381 人

児童園 84 人

学童クラブ 172 人

健康アクト 対応実績

2024年4月～2025年3月31日の各種データを集計。

健診センタ一年間利用者数

\計 24,071 人 /



洛和会東寺南病院 健診センター 10,197 人
洛和会音羽病院 健診センター 13,874 人

企業出張(巡回)健診 年間利用者数

\計 75,684 人 /

企業の健康経営を支援 働く皆さまの健康増進はもちろん、生産性の向上、離職率の抑制、企業イメージの向上に貢献します。

教育アクト 対応実績

洛和会京都看護学校

2024年度の看護師・助産師の国家試験合格率

100 %

創設から2024年度までに輩出した卒業生の合計数

2,881 人

2024年度に開設した施設

\6 力所 /

2024年

4/1開設

- ・洛和会訪問看護ステーション 大津サテライト GRe-Ns唐崎
- ・守山市立よしみ乳児保育園
- ・洛和会訪問看護ステーション亀岡千代川
- ・洛和ライフケアわくわくやましな <居宅介護・重度訪問介護事業所>
- ・ウエルネット 京都南支店

2025年

2/1開設

- ・洛和会訪問看護ステーション宇治

障がい福祉事業アクト

就労支援数

(延べ利用者数 月平均)
354 人

洛和ヴィラ桃山 II番館利用者数

(延べ利用者数 月平均)
生活介護 430 人
入所支援 594 人
ショートステイ 515 人

居宅介護・重度訪問介護訪問件数・移動支援※

(延べ件数 月平均)
約 10 件/月
延べ件数 78 件

※2024年7月～2025年3月

職員の人数

多様な人材が幅広い事業の中で活躍することで
「やさしい社会の創造」を目指しています。



看護部門

看護師	\1,291人 / 
保健師	85人
助産師	32人
准看護師	60人
特定看護師	30人
認定看護師	40人
看護補助職員	221人

技術部門

薬剤師	79人	臨床工学技士	182人	歯科衛生士	42人
理学療法士	295人	管理栄養士	46人	公認心理師	14人
作業療法士	79人	救急救命士	11人	ドクターエイド	70人
言語聴覚士	43人	診療放射線技師	74人		
臨床検査技師	65人	視能訓練士	15人		

介護職員

ケアマネジャー	239人	外国人雇用	59人
訪問介護職員	115人	保育士	166人
		事務職員	750人
		ドライバー	153人

※2025年4月1日時点

福利厚生の活用実績

2024年4月～2025年3月31日の各種データを集計。

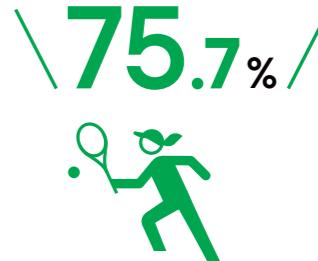
充実した福利厚生制度の積極的な活用を推進し、
職員満足度の高い「日本で一番働きたい」ヘルスケアグループを目指します。

リフレッシュ休暇取得率

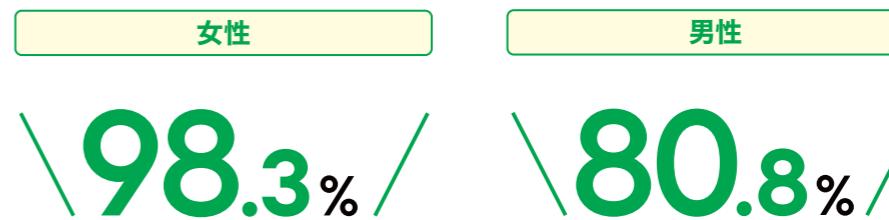


心身のリフレッシュのために年1回、
連続10日間※の休暇を取得できます。
※2025年度からは12日間

有給休暇取得率



育児休業取得率



【参考】2024年度における
育児休業取得率の全国平均は、
女性86.6%、男性40.5%
※厚生労働省の令和6年度
雇用均等基本調査の結果より

副業・兼業制度利用者数



※社外455件 / 社内185件(2025年6月5日時点)

子どもの看護休暇取得率



子どもの看護(負傷や疾病にかかった子の世話、予防接種などを含む)のために通常の有給休暇とは別の有給休暇として取得できます。

※3歳未満の子どもをもつ職員は最大10日間／年、
小学校卒業までの子どもは最大7日間／年、1時間単位での取得も可能です。

山科住居購入応援手当利用者数



山科区内に新築物件を購入した常勤職員を対象に年間14万円総額300万円を支給する制度です。

人材育成について

各種研修で優れた人材を育成



新卒職員は約1週間の研修合宿で仲間との絆を育みます。入社後は医師以外の全職種にプリセプター制度(1人の新人に1人のプリセプター=指導者)を導入しています。

充実したリーダー育成制度



リーダーを育成するための管理職研修を中心に、定期的に若手塾を開催するなど、組織の発展を担う人材育成に取り組んでいます。

福祉人材の育成



私たちが運営する介護事業所などにおいて、介護福祉の領域で活躍できる人材を育成する優れた仕組みがあることを、京都府から認定されています。

内外での学会発表をバックアップ



各部署が日々の工夫や研究結果を報告し合う「洛和会ヘルスケア学会」を年1回開催。学会発表や論文執筆には奨励金制度を設けて推奨しています。

全職員が救命講習を受講



医療や介護に携わる者として、必要な場面での確な行動ができるよう、全職員が救命講習を受講しています。

表彰制度



洛和会MVP賞、MIP賞、ナース・オブ・ザ・イヤーほか、10年勤続奨励金制度、永年勤続表彰制度(勤続20年・30年・40年の職員)、善行表彰制度など、職員を表彰する制度が充実しています。

子育て支援と健康経営

子育て支援 各種取り組み

- 男性育児休業の計画的付与制度
- 子どもの出生時休暇制度の拡充
- 子どもの看護休暇
- 出産祝金
- 保育手当(院内保育料が実質無料)
- 学童保育手当
- 家族手当
- 診療費補助
- 育児支援助成金制度
- 入学準備助成金制度
- シングルマザー・ファーザー支援制度
- おむつ定期便の実施
- ベビーシッター派遣サービス割引券購入制度など



仕事と子育てを両立する職員にとって働きやすい職場環境を整えるべく、さまざまな子育て支援制度を導入。国が定める制度とは別に男性職員に連続14日間の育児休暇を付与するなど、各種手当・休暇付与などの充実を図っています。

受動喫煙防止の取り組み

イエローグリーンキャンペーンに参加

受動喫煙防止啓発活動“イエローグリーンキャンペーン”に賛同し、2025年5月31日世界禁煙デーに、洛和会京都看護学校の校舎をライトアップしました。今回のライトアップは看護師を目指す同校の学生たちの、「たばこの害について皆で考え、健康なまちづくりを目指すきっかけになれば」という願いが込められています。



健康経営優良法人ホワイト500に認定



経済産業省と日本健康会議が推進する健康経営優良法人認定制度において、特に優良な健康経営を実践している大規模法人として昨年に引き続き上位500社にランクインし「健康経営優良法人2025 ホワイト500」に認定されました。

卒煙サポート



職員とその家族、そして周囲の皆さんの健康を守るために、積極的に受動喫煙防止および卒煙活動に取り組んでいます。2023年5月から就業時間中の喫煙を禁止し、敷地内を全面禁煙にしています。さらに、2025年7月から職員に対し「喫煙後45分間の敷地内立ち入り禁止ルール」を導入。2026年3月末までに全職員の喫煙者ゼロを目指しています。

卒煙に成功 喫煙者
258人 / 539人中

<2024年4月～2025年3月>

環境保全と地域活性化

農業事業

農業事業への参入は長年の構想を経て実現しました。健康と密接に関わる「食」を通じて、これまで以上に地域の人々の健康と暮らしを支えることを目指しています。病気の予防から生活習慣病改善まで、食と医療の連携で地域全体のウェルビーイング向上に貢献してまいります。

らくの助ファーム開園

2025年8月、京都市山科区内の閉業したハウスを大規模に修繕し、農園を開園。1,560m²のハウスで、現在トマトを栽培しています。最盛期には月間5,000kg超の収穫を見込んでいます。



看護師が育てるトマト

兵庫県有数のトマト農家「東馬場農園」にて1年間の技術研修を受け、栽培技術を習得した看護師が中心となって育てています。患者さんをケアしてきた看護師の手が、今度はトマトを育てることで“いのち”を支えます。医療現場で培った優しさで、ひと粒ひと粒に愛情を込めています。



農業×障がい福祉の連携

当会の障がい福祉事業部が運営する事業所に通う利用者さんにも苗植え、収穫、袋詰めといった農作業に携わってもらい、就労や社会参加の機会を提供しています。



地域の活性化

収穫したトマトは、京都市山科区内の小売店や洛和会音羽病院の敷地内などで販売を予定しています。将来的には当会の病院や介護施設、保育施設で提供する食事に使用するほか、施設の利用者さんが参加できる農作業体験なども実施予定です。



養蜂プロジェクト

都市の緑化と生態系を未来につなぐ、ミツバチプロジェクト。2024年7月に洛和会音羽リハビリテーション病院 テラス棟の屋上に養蜂場を設置。京都先端科学大学 バイオ環境学部、株式会社京都ニホンミツバチ研究所と連携し、ニホンミツバチの飼育を通じて都市の緑化と生態系維持に取り組んでいます。養蜂の成果として採れた蜂蜜を、地域住民へ提供したり、地域のお店と協働してハチミツを使ったスイーツを企画することも検討しています。当会では、洛和ヴィラ南麻布でも養蜂に取り組んでいます。



地域医療と街づくり

洛和会ヘルスケアシステムは、パーソナリティとして「やさしい社会を創造する。」を掲げています。これは、単に医療や介護サービスを提供するだけでなく、私たちが関わるすべての人々の暮らしに寄り添い、健やかで心豊かな人生をサポートすることを目指すという誓いの言葉です。

私たちは、質の高い医療を安定的に提供し続けるため、専門人材の育成に注力しています。洛和会音羽病院の救命救急センター・災害拠点病院という役割を維持しつつ、地域の医療ニーズに応えるべく日々研鑽を積んでいます。最新の医療機器の導入や、職員が国内外の学会で研究成果を発表する機会を積極的に支援しています。2025年4月に新築移転した洛和会京都看護学校では、地域医療を支える看護師・助産師の育成を継続していきます。今後とも、医療の質向上に努め、患者さん一人一人に最適な治療を提供できる体制を構築していきます。

また、スポーツを通じた地域活性化にも力を注いでいます。洛和会丸太町病院のスポーツ整形外科をさらに強化し、子どもたちからトップアスリート、そして健康寿命を伸ばす観点から中高齢の方々まで、あらゆる世代の「挑戦したい」という想いを医療の面から力強くサポートしてまいります。

現代社会が直面する課題は、ますます多様化、複雑化しています。私たちは、これまで培ってきた医療・介護の専門性を核としながらも、その枠を超えた新たな挑戦を始めています。その一つが、積極的な「予防医療」と「健康づくり」への取り組みです。今年度は、山科エリアに農園「らくの助ファーム」を開設いたしました。看護師が本気で作ったトマトを地域の皆さんにお届けすることで、「食」を通じた健康増進を推進します。医療機関が街に出ていき、食という日常的な営みから皆さまの健康を支える。これからの地域医療の新しい形を創造してまいります。

私たちの活動は、地域社会との連携なくしては成り立ちません。やさしい社会とは、誰もが孤立することなく、互いに支え合い、その人らしく生きられる社会です。これからも、地域の皆さん、関係機関の方々との連携を大切にしながら、社会的責任を果たしていくことをお約束します。

洛和会ヘルスケアシステム
理事長 矢野 裕典



商 号 洛和会ヘルスケアシステム
理 事 長 矢野 裕典
会 長 矢野 一郎
事 業 内 容 医療事業、介護事業、保育事業、教育事業、障がい福祉事業、他
本社所在地 〒607-8064 京都市山科区音羽八ノ坪51-4
WEBサイト <https://www.rakuwa.or.jp/>

<https://www.rakuwa.or.jp>

こちらから
簡単アクセス /

